

看護学科/4年制

授業科目		実務経験のある 教員の授業科目	単位 数	時間 数	1年	2年	3年	4年
区分	教育内容 科目名							
基礎分野	科学的思考 の基盤	教育心理学	○	2	30			
		教育原理	○	1	15	15		
		教育方法論	○	1	15	15		
		論理的思考の基礎	○	1	16	16		
		看護物理学	○	1	30		30	
		情報科学概論	○	1	30	30		
		コンピュータ情報処理演習	○	1	30		30	
	人間と生活 ・社会の理 解	医療社会経済学	○	1	16			16
		倫理学	○	1	16	16		
		法学概論	○	1	16	16		
		家族社会学	○	1	16	16		
		英語コミュニケーション	○	1	30			30
		コミュニケーショントレーニングⅠ	○	1	30	30		
		コミュニケーショントレーニングⅡ	○	1	30		30	
専門基礎分野	人体の構造 と機能	人間理解の基礎	○	1	16		16	
		手話講座	○	2	46	46		
		人体の構造学Ⅰ	○	1	30	30		
		人体の構造学Ⅱ	○	1	30	30		
		人体の構造学Ⅲ (演習)	○	1	30		30	
		人体の機能学Ⅰ	○	1	30	30		
	疾病の成り 立ちと回復 の促進	人体の機能学Ⅱ	○	1	30	30		
		臨床生化学	○	1	30	30		
		臨床栄養学	○	1	30		30	
		健康科学概論	○	1	16	16		
		感染防御学	○	1	30	30		
		病理学	○	1	30	30		
		臨床薬理学	○	1	30		30	
		疾病治療学Ⅰ (呼吸・循環・消化器)	○	1	30	30		
健康支援と 社会保障制 度	疾病治療学Ⅱ (内分泌・免疫・血液)	○	1	30		30		
	疾病治療学Ⅲ (運動・腎臓・生殖器)	○	1	30		30		
	疾病治療学Ⅳ (脳神経・放射線・精神)	○	1	30		30		
	疾病治療学Ⅴ (小児・周産期)	○	1	30		30		
	リハビリテーション論	○	1	16		16		
	看護と法律(保助看法・関係法規)	○	1	30			30	
専門分野Ⅰ	基礎看護学	公衆衛生学	○	1	30		30	
		社会福祉・社会保障論	○	1	30		30	
		保健指導論	○	2	46		46	
		看護学・保健統計	○	1	30		30	
		基礎看護学概論Ⅰ (概念・歴史)	○	1	30	30		
		基礎看護学概論Ⅱ (倫理・理論)	○	1	30	30		
		基礎看護技術論Ⅰ (共通技術)	○	1	30	30		
		基礎看護技術論Ⅱ (感染)	○	1	30	30		
		基礎看護方法論Ⅰ (環境・活動)	○	1	30	30		
		基礎看護方法論Ⅱ (清潔)	○	1	30	30		
	臨床実習	基礎看護方法論Ⅲ (食事・排泄)	○	1	30	30		
		臨床援助技術論Ⅰ (与薬)	○	1	30	30		
		臨床援助技術論Ⅱ (検査・治療)	○	1	30		30	
		臨床援助技術論Ⅲ (経過別・症状別)	○	1	30	30		
成人看護学	臨床援助技術論Ⅳ (看護過程)	○	2	46		46		
	リフレクションⅠ (基礎)	○	1	16		16		
	基礎看護学Ⅰ実習 (対象理解)	○	1	45	45			
	基礎看護学Ⅱ実習 (看護過程)	○	2	90		90		
	成人看護学概論	○	1	30	30			
	成人看護方法論Ⅰ (呼吸・循環)	○	1	30		30		
	成人看護方法論Ⅱ (アレルギー・血液)	○	1	30		30		
	成人看護方法論Ⅲ (脳・代謝)	○	1	30		30		
	成人看護方法論Ⅳ (消化器・生殖)	○	1	30			30	
	リフレクションⅡ (成人・老年)	○	1	30			30	
小児看護学	老年看護学概論	○	1	30	30			
	老年看護方法論Ⅰ (運動・腎・感覚器)	○	1	30		30		
	老年看護方法論Ⅱ (生活)	○	1	30		30		
	老年看護方法論Ⅲ (看護過程)	○	1	16			16	
	小児看護学概論	○	1	30	30			
	小児看護方法論Ⅰ (発達段階別)	○	1	30		30		
	小児看護方法論Ⅱ (症状別看護)	○	1	30		30		
	小児看護方法論Ⅲ (看護過程)	○	1	16			16	
	リフレクションⅢ (小児・母性)	○	1	30			30	
	母性看護学概論	○	1	30		30		
母性看護学	母性看護方法論Ⅰ (妊娠・分娩)	○	1	30		30		
	母性看護方法論Ⅱ (産褥・育児)	○	2	46		46		
	精神看護学概論	○	1	30		30		
	精神看護方法論Ⅰ (症状別看護)	○	1	30		30		
	精神看護方法論Ⅱ (生活)	○	1	30			30	
	精神看護方法論Ⅲ (看護過程)	○	1	16			16	
	リフレクションⅣ (精神)	○	1	16			16	
	臨床実習	○	2	90		90		
	成人看護学Ⅱ実習 (急性期・回復期)	○	2	90		90		
	成人看護学Ⅲ実習 (慢性期・終末期)	○	2	90		90		
精神看護学	老年看護学Ⅰ実習 (認知症・他)	○	2	90			90	
	小児看護学実習	○	2	90		90		
	母性看護学実習	○	2	90		90		
	精神看護学実習	○	2	90			90	
	在宅看護論概説	○	1	16		16		
	在宅看護方法論Ⅰ (家族援助)	○	1	30		30		
	在宅看護方法論Ⅱ (展開)	○	1	30			30	
	在宅看護方法論Ⅲ (技術)	○	1	30			30	
	リフレクションⅤ (在宅)	○	1	16			16	
	看護管理論	○	1	30			30	
在宅看護論	地域看護学	○	1	30		30		
	国際看護論	○	1	30			30	
	看護研究Ⅰ (基礎)	○	1	30		30		
	看護研究Ⅱ (実践)	○	1	30			30	
	看護の展望	○	1	30			30	
	救急蘇生法Ⅰ	○	1	30		30		
	救急蘇生法Ⅱ	○	1	30		30		
	救急蘇生法Ⅲ	○	1	30			30	
	災害看護論	○	1	30			30	
	看護技術演習Ⅰ	○	1	30	30			
看護の統合 と実践	看護技術演習Ⅱ	○	1	30		30		
	看護技術演習Ⅲ	○	1	30			30	
	看護技術演習Ⅳ	○	1	30		30		
	総合看護セミナーⅠ	○	1	30			30	
	総合看護セミナーⅡ	○	1	30			30	
	臨床実習	○	1	45		45		
	地域看護学実習	○	2	90			90	
	在宅看護論実習	○	2	90			90	
	看護の統合と実践実習	○	2	90			90	

実務経験のある教員の授業数 121 単位